

平成19年度「専修学校・高等学校連携等職業教育推進プラン」成果報告書

事業名	専修学校内職業体験講座および遠隔地(離島)における高校内職業分野別講習会と指導者研修会の実施		
法人名	社団法人沖縄県専修学校各種学校協会		
学校名 ((2) のみ)			
代表者	会長 名城政次郎	担当者 連絡先	新井由夫 098-832-5166
<p>1. 事業の概要</p> <p>全国的に社会問題となっている若年者の就業離れが沖縄県においてはとりわけ高く、全国ワーストの失業率が未だ改善されず地域経済振興の妨げにもなっている。その大きな要因に新規学卒者(高校・大学等)の無業者化(ニート・フリーター等)が長年の課題となっており、特に高校の新卒者については、平成17年度卒業者の24.5%(全国平均の約3倍で4,247人)が無業者化し、その改善が急務となっている。</p> <p>また、高卒生の早期離職率が高いのも大きな要因の一つでもある。</p> <p>そのため、高校生を対象とした各分野の職業体験講座を県内専門学校で実施し、職業意識の啓発をはかった。遠隔地(宮古島、石垣島、久米島)の高校においても、高校内で15分野の分野別職業講習会を実施し、情報格差のある離島の学生たちの職業選択の幅を広げると同時に、働くことの意味を考えさせ、早期離職や無業者化の予防を行うことを目的とした。</p> <p>2. 事業の評価に関する項目</p> <p>①目的・重点事項の達成状況</p> <p>事業の趣旨・目的の部分で考えると当初の目的は達成できたと考える。しかし、数値目標で見ると、予定では職業体験講座は、36講座で募集活動を行ったが、実際に開講できたのは、12講座19回であった。また、参加者も1回講座あたり12名と寂しい結果であったため、募集や講座スケジュールなどの点での課題や改善点も見えてきた。</p> <p>②事業により得られた成果</p> <p>高校生活の中での職業体験と言うとインターンシップが頭に浮かぶが、気軽にいくつも体験できるようなものではない。しかし、専門学校を活用した職業体験講座は、その職業・職種の話や実際の経験者の話や実際に体験することにより自分の頭に合ったイメージとは又違ったものを得られる機会を与えることができるものです。この体験を通して、ミスマッチを防止し早期離職の軽減や、職業意識の啓発に繋がる。</p> <p>③今後の活用</p> <p>今後とも専門学校の持っている設備や職業教育のノウハウを活用し、職業教育の場(職業体験講座など)を広く提供し続けていければと考えます。多くの専門学校の協力が必要です。</p> <p>④次年度以降における課題・展開</p>			

今年度はスケジュール的な問題などで成功とはいえないが、次年度以降は、高校との連携を強化し、学校単位での参加実施や参加した学生への単位換算などを高校側と話し合っていきたい。また、本年度は専門学校ごとでの実施日程でしたが、今後は同じ日での開催なども含め全県的な取り組みに成長させたい。

3. 事業の実施に関する項目

①職業体験講座、講演会の実施

■職業体験講座について

12講座19回実施 10月～1月

参加者数 224名(男子97名、女子127名)

94%の参加者が、職業体験講座に参加して「大変良かった」と回答しています。

その理由としては、・その業界の話を聞いてよかった。

・自分の知らないことを沢山学べてよかった。など

■高校内職業分野別講習会

延9高校(宮古、宮古工業、宮古農林、翔南、伊良部2回、八重山商工、八重山農林、久米島)で実施。

11月 翔南、伊良部、宮古

12月 八重山商工、八重山農林

2月 久米島、宮古工業、宮古農林、伊良部

参加者数 延515名

参加者のほとんどが、職業分野別講習会に参加して「大変良かった」または「良かった」という結果であった。

②その他